

# 事業評価調書

◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	37805	
事業名	アスリート活用事業費						
評価担当課	所属名	ス)スポーツ部 企画事業課					
	課長名	深井貴広	担当者名	浅井雄輔	電話番号	011-211-3044	
施策名	主	子ども・若者を社会全体で育成・支援する環境づくり					
	副						
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外		戦略ビジョン	● 対象 ○ 対象外			
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費						
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理						
事業内容	実施形態	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助助成 ○ その他					
	目的	短期	AP2019目標数値 派遣回数(累計) (2018年度)682回 ⇒ (2022年度)1,500回				
		長期	1. 顧問教員の指導力向上及び部員の競技力向上を図り、充実した活動環境をつくる。 2. 地域のスポーツ活動の振興及び地域の活性化を図る。				
	取組内容	1. 中学校運動部活動にアスリートを外部指導者(中体連に登録)として派遣し、同一アスリートが継続して指導する。派遣頻度は5月～3月の派遣12校、8月～3月の派遣12校を想定。 2. 地域団体の要望(種目や内容)に応じてオリンピック等のトップアスリートをスポーツイベント、体験会、講演等に派遣して、事業に係る謝礼と交通費の実費について補助する。企画・運営は実施団体が行ない、広く参加者を募ることを要件とする。					
	実施結果	1. 運動部活動アスリート派遣 24部活動に延べ273回派遣。 2. オリンピアンズキャラバン 1イベントに派遣。新型コロナウイルス感染症によりイベント実施の見通しが立たず、申込が減少。					
事業実施における工夫点	1. R2に引き続き、派遣時期を従来の5月開始分及び、部活動が新体制となる8月からの派遣開始とし、各学校の状況に応じた派遣を可能とした。						
対象者	中学校運動部活動の顧問及び部員、地域諸団体			開始	平成28年度	終了	0年度
関連法令・条例・要綱等	スポーツ基本法						
他都市の状況	1. 近年、運動部活動の地域移行に向けたモデル事業として、アスリートが運動部活動に派遣される例は見られる。しかし、アスリート人材バンクとの業務委託による派遣の例は見られない。 2. 既定の内容を地域イベントに組み込む形態のキャラバン事業を行っている自治体がある。						

◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算	
事業費	14,559	14,000	11,256	14,000	
うち特定財源	34	1,800	133	1,800	
人工	0.5	0.5	0.5	0.5	
人件費	3,600	3,600	3,600	3,600	
計(事業費+人件費)	18,159	17,600	14,856	17,600	
事業費の内訳	令和3年度決算	1. アスリート派遣(委託料) 273回 11122千円 2. オリンピアン、トップアスリート派遣 1回 134千円			
	令和4年度予算	1. アスリート派遣(委託料) 295回 12200千円 2. オリンピアン、トップアスリート派遣 12回 1800千円			

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	派遣回数		
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定
		330	273	305
活動指標2	指標名			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定
成果指標1	指標名			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標
成果指標2	指標名			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標
項目	判定	理由		
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	1. アスリート派遣 アンケート結果から、顧問教員の指導力向上及び部員の関心意欲の向上が図られ、部活動の充実に寄与。次年度に再度応募する部も多いため、満足度が高いと言える。 2. オリンピアン等のトップアスリート派遣 コロナ禍でイベント数が少ないながら、イベント内容の充実により、市民のスポーツ振興に寄与。		
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	1. アスリート派遣 派遣競技数、派遣部活動数の拡充により運動部活動のニーズに応えられており、人気も高まっているため、更なるニーズに応える必要がある。 2. オリンピアン等のトップアスリート派遣 コロナ禍で実施件数が減少しているが、本件についての問い合わせやニーズはコロナ禍以前と同様に継続的である。このことから、事業規模を維持して実施。事業ボリュームは適切である。		
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	1. アスリート派遣 業務委託により実施。連携を図り適切に実施できている。 2. オリンピアン等のトップアスリート派遣 地域団体等と連携を図り、オリンピアン等の調整を効率的に実施している。		
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	A	1. アスリート派遣、2. オリンピアン等のトップアスリート派遣 利用者のアンケート結果から、各事業において利用者のニーズに応えられていると認識。		
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input type="checkbox"/> 対象外    市民参加結果への対応 <input type="checkbox"/> 回答 <input type="checkbox"/> 反映			
今後の改善点	1. アスリート派遣 派遣競技数、派遣部活動数の拡充内容を維持して実施し、運動部活動のニーズに応えていく。			
前回の評価	● A    ○ B    ○ C    ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし			
今年度取り組んだ見直し内容	部活動の地域移行を踏まえたアスリートの派遣回数		見直し効果額 (前年度)	0 千円
今回の評価	● A    ○ B    ○ C    ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし			
評価の理由	コロナ禍でイベントが実施できない等の影響はあったが、スポーツ振興事業として十分に評価できる。			
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	○ 改善    ● 現状維持    ○ 休止・廃止 アスリートを活用した派遣により、運動部活動やイベントの活性化を図る。		
	予算	● 拡充    ○ 現状維持    ○ 縮小    ○ その他 部活動の地域移行を見据えた、運動部活動アスリート派遣事業の派遣回数を増加させる。 加えて、従来より少年団からオリンピアンへの派遣依頼があったため、少年団への派遣に係る予算を増加させる。		見直し効果額 0 千円